

佳作

別府市立朝日小学校三年 越智 悠斗

「しあわせになるためには」

ぼくは、しあわせになるためにはどうすればいいかを考えてみました。

まず、ぼくにとってのしあわせとはなにかと言うと、みんなと楽しくわらってすごせるということです。なぜかと言うと、みんなと楽しくわらってすごせたら、みんなも楽しくなつて楽しくない人がいなくなるからです。

でも、時どき、いやな言葉で相手を、きずつけたり悲しい気持ちにさせてしまうことがあります。友だちに「うるせえ」と言われて、すごく悲しい気持ちになりました。他にも、「だまれ」と

学校でこんなことがありました。友だちに「こうした方がいいよ」と教えてあげたら、友だちに「なかまに入れない」と言われたこともありました。そのときぼくは、なんでこんなことを言われないといけないんだろうと思いました。

でも、自分も同じようなことをしてないか、同じようなことを言っていないか、自分をふりかえりました。ぼくもイラツとして言ったことがありました。ぼくが言われて、悲しかったように相手にも同じような、悲しい気持ちにさせていたんだということに気づきました。

こんなふうには、たった一ことで人をきずつけてしまうチクチク言葉をみんなが使ったらだれもしあわせの気持ちにならないし、楽しくすごせません。

では、なぜこんなふうない方をしてしまうのかを考えました。

それは、みんなが自分の思うようにならないからそういう言葉を使ってしまっただなど思いました。だから、どうすればそうならないのかなと考えてみたら、それはおたがいに思いやりをもつことなんじゃないかと思いました。

思いやりをもつことができれば相手の気持ちを考えることができるし、そうすればちくちく言葉も出てこないと思います。

だから、自分はちくちく言葉を言わないように、相手のことを考えて思いやりをもってしあわせで楽しくすごせるように、がんばろうと思います。また、自分にやさしくしてくれたり、声をかけてくれた人には「ありがとう」と言えるようにしたいです。

「ありがとう」はちくちく言葉とちがって人をしあわせな気持ちになるすてきな言葉だからです。だから、ぼくはだれかが手つだってくれたり、なにかをしてもらったら、その人に、

「ありがとう」と大きな声で言いたいと思います。

そして、それが広がればみんながしあわせになれると思います。

しあわせになるためにみんなで思いやりの気持ちをもってすごしましょう。